著作権教育 学習指導案

平成 19 年 12 月 10 日 尾崎文雄

1 単元 著作物について考えよう

2 単元の目標

著作物の大切さに気づき、著作物には著作権があることを理解するとともに体験的な学習を通して著作物を尊重する態度を育成する。

3 題材 太郎君のコレクション

4 題材について

「太郎君のコレクション」は、家庭で起こりうる著作権問題を題材にしている。レンタルしたCDをコピーして楽しむ太郎君の家に遊びに行った健二君が太郎君のCDをコピーする行為を通して、著作物の大切さに気づかせる内容である。

授業内容の理解を助けたり、思考を深めたりするために、授業展開に合わせてワークシートを用意している。

5 児童の実態について

本校は、津山市の中でも比較的中心部に近い学区にあり、レンタルビデオやレンタルCDを利用した 経験のある児童もクラスの中に多くいる。また、レンタルしたCDをコピーして自分で楽しんだ経験を もつ児童もいるのが実情である。

ただし、レンタルしたCDをコピーすることについてそれが良いことなのか、悪いことなのか判断する基準は持ち合わせてはいない。自分でも知らず知らずのうちに他人の著作権を侵害している場面も考えられる。

6 本時の授業について

児童の中には、レンタルCDを借りてコピーした経験があるものがいる。

授業では、パワーポイントで作成したプレゼンテーションを提示しながら教師が話を進めていく。太郎君と健二君、健二君のお父さんのセリフを読むときは場面の様子に合わせて声の強弱やトーンに気をつけるように留意したい。また、三人の心情を予想させる場面ではワークシートに書き込ませることによって思考を深めるようにする。なぜ、コピーすることがダメなのか子どもたちにじっくりと考えさることで多様な意見を出し、著作物の大切さに気づかせたい。

7 本時案

本時の目標 健二君の心情が、お父さんの言葉によってなぜ変化したのかを考えることによって著作物の大切さに気づくことができる。

学習活動

主な発問と予想される反応

指導・援助の留意点

- 1 導入
- ・C Dをレンタルしたり、コピーした IIレンタル C Dを借りたことのある りした経験があるか尋ねる。
- 2 展開 お話を聴く





人?

- ・お家の人と行ったことがある
- ・コピーして車の中で聴いている
- ・自分にとって身近な話題 であることを知らせる。
- ・読み終えた後、理解を図 るため登場人物や場面設 定を簡単に押さえる。

健二君がCDをコピーしてほし いと言ったときの太郎君の気持ちを 考える。



その時の健二君の気持ちを考える。



お父さんは健二君に何を伝えたか ったのか考える。



はっと思った時の健二君の気持ち を考える。



3 まとめ 授業のまとめをする。

ことや授業の感想を書く。

|健二君がCDをコピーしてほしいと| 言ったとき、太郎君はどんな気持ちに なりましたか。

- ・そんなことして良いのかな
- ・悪いことじゃないのかな
- ・自分で借りればいいのに

C Dをコピーしてほしいと言ったと き、健二君はどんな気持ちでしたか。

- ・別にだれにも迷惑かけないよ
- ・コピーするぐらい簡単さ

お父さんは健二君に何を言いたかっ たのでしょうか。

- ・いろいろな人に迷惑がかかるんだ
- ・自分で借りなさい

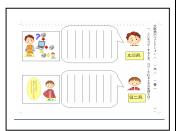
|はっと思った時の健二君はどんな気| |持ちだったんでしょうか。

- ・自分がやったことは悪いことだ
- ・CDを作った人にも迷惑をかけた

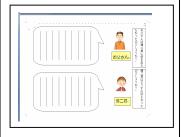
健二君はどうすればよかったのでし ょうか。

ワークシートに大切だと思った ||授業の感想や大切だと思ったことを 書きなさい。

- ・ワークシートに記入させ る。
- ・少しでも書けたらしっか りと誉める。



- ・意見が出にくいようなら 大勢の人が働いているこ とを再度確認する。
- ・ワークシートに記入させ る。
- ・健二君の気持ちはをワー クシートに書かせる。



- ・働いている人のことを考 えることで著作物の大切 さに気づかせる。
- ・指名して感想を発表させ る。